

菊岡保人の水彩画
～細部に思いをこめて～

「凧揚げ」

昨年1月4日の駒沢オリンピック公園（以下駒沢公園と記します）中央広場での凧揚げ風景です。

駒沢公園は1964年に日本で開催されたオリンピックの第2会場として整備され、その面積は41ha。公園内には陸上競技場、野球場、テニスコート、屋内球技場などの施設があります。これら施設に囲まれて高さ50mのオリンピック記念塔が建つ中央広場があります。

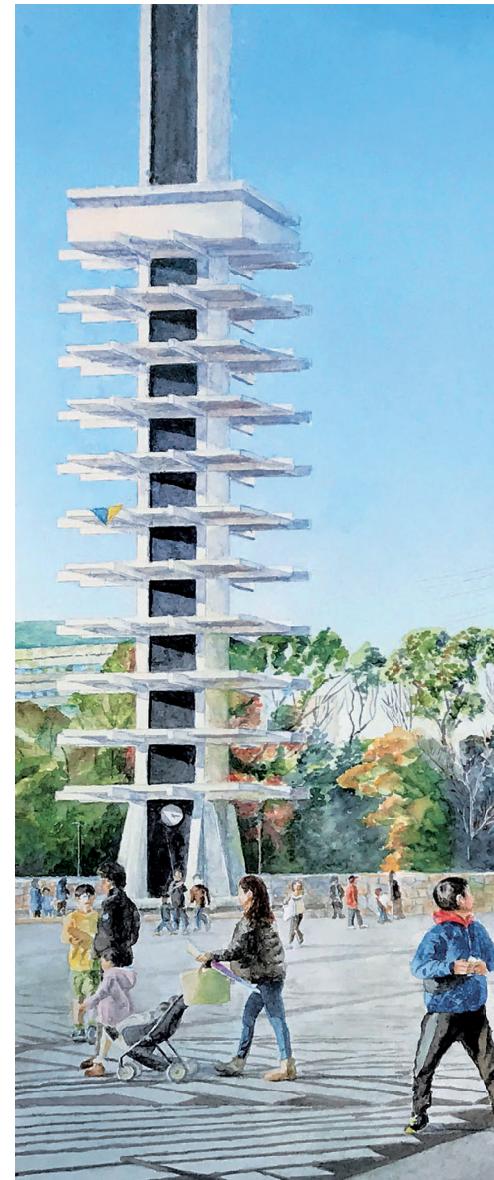
広場は120m×240mほどあり、ラーメンフェスタやわんこ祭（犬の撮影会や警察犬の紹介など）、全国大陶器市、餃子フェスなどに活用されています。これらの催物がない場合は一般人が自由に使用しています。この凧揚げも大会でなく、お正月を凧揚げで楽しもうとした人々の自然発生的な集まりです。広い空間が取れない街では子供や付き添う大人達の凧揚の格好の場所となっています。

凧は中国から日本に伝わり平安時代の書物にも登場しています。南蛮貿易時代に帆船の帆を思わせる四角い和凧が登場し、当時は「いかのぼり」として流行したようです。名前は四角形の下に細長い紙をつけた形がイカに似ていたからでしょう。このイカがタコになったのは江戸の町が「いかのぼり」に夢中になり過ぎたのを鎮めるため、1656年に「いかのぼり禁止令」が出され、これに反発したネーミングが「たこのぼり」です。笑えるような話ですが！なお、漢字「凧」は国字です。

この凧が人々を空に誘う動機となって飛行機にまで進化したことなど、子供達は我関せずと夢中になっている姿は神々しくもあります。三角凧はNASAと関係があると知ってもらうと、凧も喜ぶかもと思いつつ絵に収めました。



菊岡 保人



Size : 530×455mm (F10)